

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

令和7年3月/日

(宛先)岡崎市長

団体名 Dance with WAVE

代表者 牧 勝

構成員 6 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

岡崎市民およびその周辺に在住する子どもから高齢者まで、性別や国籍を問わず、また障がいの有無にも関わらず、多様性を認め合い、有酸素運動としてのズンバや、整体としてのヨガ、さらには栄養指導やけが防止の勉強会をすることで、安心して健康保持・増進を図ること。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
偶数月の 第2日曜日	りぶら	市民(ヨガまたは ズンバ参加者)	平均 25人	呼吸やポーズを組み合わせ、心と 体を整えるヨガと音楽とダンスを 組み合わせた初歩的なズンバの実施
毎月1回 土日のいずれか	悠紀の里	市民(コラボ ズンバ参加者)	平均 30人	2~3人のインストラクターによる 初・中級者向け75分間のコラボ ズンバの実施
毎月2回 火曜日	悠紀の里	市民(ズンバ 参加者)	平均 15人	最新のラテンミュージックに合わせた フィットネスとしての中・上級者向けの ズンバの実施
9月1日	りぶら	市民(イベント 参加者)	105人	健康保持・増進のための活動PR として、音楽に合わせて参加者と一緒に 体を動かす体験型イベントの実施

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

市民が自分の体と相談しながら音楽に合わせて体を動かし、体調を整える機会を得ることで、日常生活においても健康保持・増進を図る意識が高まることにつながった。また、活動を通じて、参加者同志が社会的につながる喜びを共有できた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

小学生から高齢者まで幅広い世代の人々や、外国籍の方々、障がいを持った方々とも活動を共にし、自分自身の心と体だけでなく、多様な人々と一緒に健康保持・増進の機会を共有することができたから。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。